

岡山県芸術祭・倉敷市文化祭参加公演
第38回定期演奏会

倉敷音楽協会 20周年記念演奏会



'91 **12月8日(日)**PM2:00開演
倉敷市民会館大ホール

20周年記念演奏会によせて



倉敷音楽協会 会長 鈴鹿 正

『音楽』とは、何でしょうか？

『はじめに、音ありき』といたしましょう。

たしかに、『音』は音楽を構成する、最も基本的なものです。しかし、ひとつの『音』は、『音楽』とはいえません。人間が、いくつかの『音』に、リズムや強弱、そしてハーモニーを与えて初めて、『音楽』となるのです。そして、一つ一つの『音』が互いに、複雑に影響しあって、すばらしい芸術へと発展して行くのではないのでしょうか。

さて、20年前のことです。ここ文化都市倉敷に住む演奏家たちが、1人、2人と集まって、倉敷音楽協会を創りました。

『音』が集まってすばらしい『音楽』となるように、この20年間、色々な分野の、様々な個性をもった協会員が協力しあい、互いに啓発しあい、技術を高めあってまいりました。

また、個人ではなかなか開くことの出来ない演奏会や、様々な企画も数多く持つことができ、協会員の技術の研鑽の場としてまいりました。

本日もここに、創設20周年記念演奏会を開催することができました。これはひとえに、各界、各方面からお寄せ下さいました絶大なるご支援とご協力の賜物でございます。また、ご来場戴きました多数の方々、ご協力戴いた県市当局、そして賛助出演してくださる倉敷管弦楽団の皆様に、心よりお礼申し上げます。

そろそろ、今日のステージの開幕時間が近付いてまいりました。

出演者一人一人の個性が、互いに共鳴しあい、すばらしい『音楽』を生み出すことができますよう、暖かいご声援をお願い申し上げます。

プログラム

●スカラムーシュ(2台のピアノのための組曲)……………ミヨー

I Vif	ピアノⅠ/坂 本 美知子
II Modère	ピアノⅡ/大 森 菜穂子
III Brasileira	

●ハンガリー田園幻想曲……………ドップラー

フルート/天 本 由 美
ピアノ/市 村 玲 子

●組曲「惑星」作品32より……………ホルスト (米倉由起編曲)	
I 戦争の神 火星	ピアノⅠ/三 宅 恵
IV 快楽の神 木星	武 田 朋 子
	ピアノⅡ/林 園 子
	三 村 みどり

●ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18……………ラママニノマ

第1楽章 モデラート	ピ ア ノ/井 山 京
第2楽章 アダージョ ソステヌート	
第3楽章 アレグロ スケルツァンド	

●オペラ「ポエム」より「ミミの別れ」……………プッチーニ

ソプラノ/大 森 友 子

●オペラ「トゥーランドット」より「氷のような姫君の心も」……………プッチーニ

ソプラノ/川 井 弘 子

●オペラ「魔笛」より……………モーツァルト

第1幕 第1曲「助けてくれ」	ソプラノ/佐 藤 則 子
第2曲「わたしは鳥刺し」	妹 尾 映 子
	佐 藤 由 美
第2幕 第14曲「わが胸 いかりに燃えて」	亀 高 由 子
第16曲「今 また 御身たちに」	守 安 裕 子
第17曲「愛の喜びは露と消え」	行 本 晴 子
第21曲「パ、パ、パ」二重唱	テノール/永 田 桂 輔
終曲「浄められた人々よ万歳」	バリトン/仁 科 喜代蔵

賛助出演
 テノール/池田 進一(倉敷男声合唱団)
 馬場 修(川崎製鉄水島混声合唱団)
 バス/伊原 明芳(倉敷男声合唱団)
 飯田 永久(川崎製鉄水島混声合唱団)

演奏 倉敷管弦楽団 指揮/菊池 東

「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年設立の倉敷管弦楽団は、文化都市倉敷にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団です。バロックから現代曲までの幅広い演奏活動で昭和57年には岡山県文化功労賞、昭和60年には倉敷文化連盟賞を受賞し、将来を大きく期待されています。

各地で活躍中の指揮者を客演指揮者として招き、フルートの世界的巨匠ジャン・ピエール・ランパル氏との共演をはじめ、各地で活躍中のソリストや岡山県内で活躍中の音楽家達との共演や、團伊玖磨氏作曲の「管弦楽のための高梁川」の初演、創立10周年の400名から成る第九演奏会、中国二期会とのオペラ、また、瀬戸大橋開通を記念して、小六禮次郎氏作曲の交響詩「瀬戸内賛歌」の発表を行うなどそれぞれ注目的となる多彩な演奏活動を続けています。

曲目解説

◆スカラムーシュ（2台のピアノのための組曲）

スカラムーシュは3曲からなる楽曲で、多調主義のミョーの作品としては簡明でありながら精彩に富んでいる。1937年に書かれ、第1曲、第3曲は彼が先立って作曲した子供向きの劇音楽《空とぶお医者さん》(モリエールによる)にもとづいている。

《スカラムーシュ》とは、もともと17世紀のナポリに生まれた喜劇役者の名前だが、彼の没後それが普通名詞のように用いられたものである。

◆ハンガリー田園幻想曲

ハンガリーはヨーロッパの中の小東洋とも言われている。そうした東洋的な気分をたたえたこの名曲の作曲者フランツ・ドップラーは、ドイツ系ハンガリーの名フルート奏者兼作曲家で、1883年に62歳の生涯を閉じた。

曲はハンガリア・ジプシーが好んで用いたチャルダッシュ（ゆっくりしたラッサン部と急速なフリスカ部）の様式を取り入れて創られている。

まず、二短調モルト・アンダンテのやや長い序奏が奏され、それが終わると急に曲趣が明るくなり、二短調アンダンティーノ・モデラートのラッサン部が奏される。そして最後にアレグロでリズムミク的なフリスカ部が華やかに奏されて終わる。

◆組曲「惑星」作品32より

第1曲 戦争の神、火星

アレグロ、4分の5拍子で書かれ、逞ましいリズムが全曲を通して繰り返される中を、性格の異なる3つの主題が登場する、まことにダイナミックで豪快な音楽である。

第4曲 快樂の神、木星

アレグロ・ジョコーソ、4分の2拍子で書かれ、全曲中もっともスケールの大きい、変化に富んだ音楽である。

引き締まった筋骨質のダイナミックとリズム、そして途中で登場する懐しい民謡風の旋律など、実に愉しさの限りである。ホルストは、この「木星」について、「普通の意味における喜びのほかに、宗教的な、または国民的なお祭りと関係ある喜びをも表現している」と述べた。

◆ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18

この曲をラフマニノフは1900年に着手し、1901年10月モスクワフィルハーモニーオーケストラと、作曲者自身のピアノにより初演されました。それ以前、ラフマニノフは精神的な病いを患い治療していましたが、この曲を作る頃には、だいぶ良くなってきていたということです。しかし実際に演奏してみますと、このテンポ、この拍の中に、おびただしい数の音があることに驚かされます。こんなに必要がないと思われる程の音を全部きちんと弾いてみても、初めは何が何だかわかりません。かなり音を整理しないとメロディが浮かびあがってこない、まるで、遠く離れて見ないとわからないモザイク絵のようです。難曲中の難曲と言われる由縁かも知れません。

1902年、ライプツィヒのゲバントハウスにて国外初演されて以来、名声を得、有名になりましたが、各楽章に織り込まれているロシアの大自然を歌いあげる美しい情熱的なメロディは、これからも、多くの人々に愛されることと思います。

◆オペラ「ボエーム」よりミミのアリア「告別の歌」

作曲者のプッチーニの名声を世界的に確立した最大の傑作とされている。題名の「ボエー

ム」は、フランス語で、「ボヘミア人のように放浪的な生活をする人」を意味する。

パリに住む貧しい芸術家達が共同生活をしている。その中の一人、詩人ロドルフォの所へ主人公のミミが、ローソクの火を借りにきて互いに身の上話しをするうち、心引かれやがて生活を共にする。

ミミは胸を患っていた。ロドルフォは「病身で死を待つばかりのミミに貧乏な自分にはどうすることもできない。ミミの病気の原因は自分にある。」と、友人のマルチェロに悩みを打ち明けているのを木陰で聞いていたミミは、ロドルフォとの別れを決意し、限りない哀愁を込めてこの「告別の歌」を歌う。

◆オペラ「トゥーランドット」よりリュウのアリア「氷のようなお姫様の心も」

北京のトゥーランドット姫の美しさに魅せられたダッタンの王子カラフは、父親やリュウの止めるのもきかず姫に求婚しようと、命をかけて3つの謎にいどむ。

このアリアは第3幕で、3つの謎を解いたカラフルに尚も気持ちを許そうとしない姫に対して、奴隷の身でありながらカラフを愛するリュウの歌う感動的なアリアである。「氷のようなお姫様の心も、熱い炎に負かされてあの方(カラフ)を愛するでしょう。夜明けの前に私は疲れ果て目を閉じます。あの方が再び勝てるように…あの方を再び見ないために…」と歌い、リュウは短刀を胸に突きたて自害する。

そしてこれはプッチーニ最後のオペラとなり、このリュウの死までが彼自らの手によるものである。

◆オペラ「魔笛」より

モーツァルトの最後のオペラ。元来のジグシュビール（歌芝居）に比べてかなり形態や内容の異なったものになっている。童話的世界が舞台になり、民俗劇のタイプが取り入れられていることなどにジグシュビールの特性が見られる。「魔笛」のあらすじは、山の中で王子タミーノが恐ろしい大蛇に追われて助けを求めるところから始まり、夜の女王の三人の侍女が出てきて大蛇を退治し、女王の所へこのことを報告に行く。その留守に鳥刺しのパパゲーノが陽気な歌を歌いながら現れる。タミーノは眼を覚ましパパゲーノにこの次第を尋ねるが彼は自分で大蛇を退治したとうそを付く。そこに戻ってきた三人の侍女が彼のうそを暴き、罰としてその口に錠をおろす。夜の女王の娘パミーナが邪悪な魔法使いザラストロに奪い去られたこと、魔法使いに復讐するための騎士に女王が彼を選んだことを語る。タミーノはパミーナの絵姿に心を奪われザラストロを退治することを誓う。突然雷鳴が轟いて夜の女王が現れ、タミーノに無事に娘を救いだしたら娘を彼に与えると約束する。女王が消えるとタミーノは三人の侍女から魔法の笛をもらいパパゲーノは口かせを解かれ魔法の鈴を与えられてタミーノのお供にされる。二人は三人の童子に導かれながらザラストロの城に向かう。ザラストロの城の中でパパゲーノと会ったパミーナは逃げだそうとするが、ザラストロが現れ、彼に逃走しようとした罪をわびる。ザラストロはタミーノとパミーナの二人が結ばれるためには、試練を受けねばならないと試練の寺院につれていく。月夜の庭で、眠っているパミーナの所へ夜の女王が現れパミーナに短剣を与え、ザラストロを殺すことを命じる。タミーノとパパゲーノは寺院の一室で無言の行をする。老婆が現れてパパゲーノに恋を仕掛けるが雷鳴により退散する。傷心のパミーナは自殺を企てるが三人の童子に止められ、タミーノの変わらぬ愛を告げられる。パパゲーノは大騒ぎでパパゲーノを探す。見当たらないので首を吊ろうとするが三人の童子が現れ鈴をならせと教える。鈴の音と共にパパゲーノが現れ二人はこおどりする。夜の女王と三人の侍女、黒人のモノスタートスが復讐にくるが、雷鳴閃光とともに一行は地獄に落ち、当たりは明るくなってザラストロ及び全員の光明と徳をたたえる合唱のうちに幕となる。

今回は、この物語の内、波線の部分を演奏する。

出演者プロフィール



坂本 美知子 ピアノ

国立音楽大学教育音楽学科 第Ⅰ類 卒業
大原久央子, 井山 京, 野村英子, 中山敬依子の諸氏に師事
第16回国立音楽大学フレッシュコンサート出演
倉敷音楽協会定期演奏会, サマーコンサート, 玉島タウンコンサート等出演
1989年, 玉島少年少女合唱団伴奏者として, ニュージーランド・クライスト
チャーチ親善公演に出演
現在, 玉島少年少女合唱団指導, 伴奏者



大森 菜穂子 ピアノ

神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業
梅谷 進, 田原富子, 奥村智美, 山内鈴子諸氏に師事
1989年, ウィーン夏期音楽講座参加, アレキサンダー・イェンナー氏に師事
倉敷音楽協会定期演奏会, グループ奏定期演奏会, サマーコンサート等出演
現在, 中国短期大学幼児教育科非常勤講師



天本 由美 フルート

東京音楽大学音楽学部器楽学科フルート専攻卒業
星島明郎・植山泰一氏に師事
「岡山リコーダーコンサート」演奏会出演
三原市, 備前市, 倉敷市においてジョイントリサイタル開催
アメリカ・カンサス大学にて, 倉敷コールクライネと協演
倉敷市立美術館にて, ミュージウムコンサートに出演
岡山フルートの会, 岡山交響楽団, 倉敷コールクライネ, 倉敷リコーダー
アンサンブル「あいびい」に在籍



市村 玲子 ピアノ

国立音楽大学ピアノ科卒業
桑川久美子, 米井里香, 拝田正機, 野村英子 諸氏に師事



三宅 恵 ピアノ

武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業
玉井和子・難波菊枝・岩崎 淑・樋口泰子 各氏に師事
現在, 山陽学園短期大学非常勤講師



武田 朋子 ピアノ

国立音楽大学 教育音楽学科第Ⅱ類 卒業
拝田正機・片山康雄・(故)安達真四・(故)大森千穂 諸氏に師事
現在, 順正短期大学幼児教育科非常勤講師



林 園子 ピアノ

大阪音楽大学短期大学部器楽科 ピアノ専攻卒業
松本幸子・馬場喜子・藤田圭子・荻野美穂 各氏に師事
「2台8手」
武田朋子・三宅 恵・林 園子・三村みどり



三村 みどり ピアノ

大阪音楽大学短期大学部音楽専攻 卒業
福守道子・永井 讓・高岡八重子諸氏に師事



井山 京 ピアノ

国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業
竹内キヨ・山下浜子・田辺 緑・(故)クロイツァー豊子・日高七重各氏に師事
昭和56年 倉敷音楽協会10周年記念演奏会において, グリーグのピアノ
コンチェルト op. 16を倉敷管弦楽団と共演
昭和59年 8月 倉敷市主催「子供のための音楽史」を講演する
石原裕子氏と「UNISON」結成
昭和61年 4月 倉敷文化センターにて「第1回UNISONピアノコンサート」を
開催
5月 東京・青山カワイショップ「パウゼ」にて, 同コンサート開催
昭和63年 2月 東京・武蔵野市民文化会館及び倉敷・文化センターにて「U
NISON'88 井山 京ピアノリサイタル」開催
昭和64年 6月 倉敷文化センターにて「UNISON フレッシュコンサート」
ピアノデュオ等 賛助出演多数



大森 友子

東京声専音楽学校教員養成科卒業 同 オペラ研究科卒業
井上清光, 坂元陽子, 古賀恵美子, 矢部礼子, 依田喜美子の各氏に師事
岡山演奏家協会フレッシュコンサート, クリスマスチャリティーコンサート
倉敷音楽協会演奏会, サマーコンサート, 中国二期会主催・親子で楽しむフ
ァミリーオペラ「泣いた赤鬼」のナレーター(歌のおねえさん)役, など数
多くの演奏会に出演している
現在, 就実学園非常勤講師 中国二期会準会員 岡山演奏家協会会員
女声合唱団「岡山なでしこ」所属



川井 弘子 ソプラノ

広島大学教育学部音楽科卒業 東京学芸大学大学院修士課程修了
(西)ドイツ・シュトゥットガルト音楽大学に2年間学ぶ。またモーツァルト
ウム夏期国際音楽アカデミー(ザルツブルグ), E・アーメリング・マスターク
ラス(ミュンヘン)なども受講し, ドイツ・オランダにて多数のコンサートに
出演
発声トレーニング法を故・木下武久, 声楽をJ・スタフスキー, M・ブロック,
独語発語法をC・フンメル, 歌曲解釈法をR・ヤンセン, K・リヒターの諸氏
に師事



佐藤 則子 ソプラノ

国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業
大原正義・井上敦子・井上貞一・吉田征夫 諸氏に師事
国立音楽大学フレッシュコンサート, 岡山若い芽のコンサート, 岡山県新人
演奏会コンサートふるさと'88出演
東京都新宿区文化センターにおいて, ソロリサイタル「ドイツ名歌曲の夕べ」
を持つ。倉敷音楽協会定期演奏会, アイビースクエア・サマーコンサート出
演。倉敷音楽協会創設15周年コンサートにおいて倉敷管弦楽団と協演。
国民文化祭「埼玉」, 四国・高松において合唱ソロ, 神戸バッハ・カンタータ
アンサンブルにてソロをつとめるなど, 県内外において演奏活動を行う
また, 視覚障害者用「新しい讃美歌」を録音, 「テープ図書」作成 倉敷市立図
書館に納める予定
現在, 「アンサンブル四季」, 神戸バッハ カンタータ アンサンブル所属
中学校講師



妹尾 映子 ソプラノ

東邦音楽短期大学卒業
尚美高等音楽学院卒業
声楽を井上善策氏に師事
昭和54年, 岡山県新人演奏会に出演。以後, 倉敷音楽協会会員として演奏活
動を行っている



佐藤 由美 ソプラノ

中国短期大学音楽科声楽専攻卒業
鈴鹿 正・薦田義明・渡辺和枝の諸氏に師事
ムジカドンネ演奏会に出演
グループムジカドンネ会員
ボーカルグループ・プチ・パニエ
倉敷市民合唱団 所属



亀高 由子 ソプラノ

広島大学教育学部音楽科卒業
小林寛子・日比啓子・矢田部義弘各氏に師事
倉敷古城池高等学校常勤講師



守安 裕子 ソプラノ

中国短期大学音楽科声楽専攻卒業 同大学専攻科(音楽)修了
大原正義氏に師事
1986年 卒業記念コンサート出演
1987年 グラム米軍基地音楽ホールにてモーツァルトの夕べに出演
1991年 ウィーン・ムジークフェラインにてブラームスを歌う会出演
ボーカルグループ「プチ・パニエ」所属 JAC(ジャパンアカデミーコール)
会員



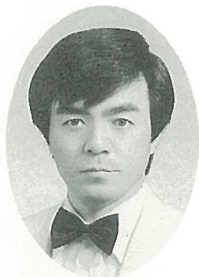
行本 晴子

作陽高校音楽科声楽専攻
作陽音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業
佐藤浩一・植木昭充・元吉恵子氏に師事



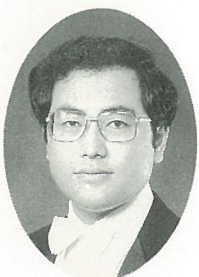
永田 桂輔 テノール

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業
(故)木村四郎・木下 保各氏に師事
1975年・1981年・1988年に倉敷公民館にてソロ・リサイタル
作陽音楽大学講師を経て, 倉敷市立短期大学助教授
倉敷市合唱連盟理事長, コスモスコラス指揮者
倉敷音楽協会理事, 岡山県大学音楽研究協議会理事



仁科 喜代蔵 バリトン

東邦音楽大学卒業 富田義助・水戸部克己両氏に師事
第2回岡山県新人演奏会を始めとして, 二期会中四国支部オペラ「アマールと
夜の訪問者」, 倉敷少年少女合唱団創作オペラ「パースーむパーティ」等出演
また, 当協会15周年記念演奏会ではオペラ「フィガロの結婚」抜粋に出演し,
フィガロ役を歌った
現在, 岡山芳泉高等学校教諭, コールピクルス指揮者



菊池 東

広島大学工学部卒業 東京都民交響楽団のサブコンサートマスター, モーツ
ァルト室内管弦楽団のコンサートマスター, etc を経験し, 昭和48年帰岡
昭和49年, 仲間と共に倉敷室内管弦楽団(現 倉敷管弦楽団)を創設。以来同楽
団の常任指揮者として現在まで岡山県内各地で演奏会を開催
又, ヴァイオリン奏者としてヴァイオリン・リサイタルの他, 倉敷音楽協会
楽興の会, 玉島蔵の中コンサート, etc の演奏会でソロ, 室内楽の演奏活動
も続けている

倉敷音楽協会プロフィール

◎ 会 の 紹 介 ◎

文化都市倉敷の名にふさわしい音楽文化の向上を目的としたもので、お互いの技術の向上を計り年二回の定期演奏会をはじめサマーコンサート・児童生徒を対象とした巡回演奏・ピアノコンクール・公開レッスン・研究会などを積極的に行なっている音楽集団です。

◎ 会 員 資 格 ◎

倉敷近郊に在住又は勤務先があり、音楽専門教育を受けたものまたはそれに準ずるもの(在学生を除く)で協会の主催する会において発表(演奏, 作品)できる方、入会は春・秋の年二回のオーディションによる。次期オーディションは1992年4月の予定。

※入会の申し込み、又は協会についてのお問い合わせは 鈴鹿正理事長(☎22-9126)へ

倉敷音楽協会会員 ('91年3月現在)

鈴鹿 正	牧 妃佐子	桑川 久美子	行本 晴子
仁科 喜代蔵	妹尾 映子	田中 久美子	市村 玲子
諏訪 江美子	青井 則子	山下 文子	亀高 由子
菊池 東	林 園子	森本 敬子	川田 早苗
安田 一恵	佐伯 明彦	斉藤 有紀子	佐伯 勝子
井山 京	栗田 桂子	大森 菜穂子	佐藤 由美
渡辺 敏	武田 朋子	坂本 美知子	永瀬 清美
永田 桂輔	小寺 由香	藤田 真理子	原田 徳子
高須 久美子	小林 由紀子	荒木 陽子	本田 順一
佐藤 則子	三宅 恵	柳井 千恵子	守安 裕子
大山 佐知子	天本 由美	大森 友子	大島 朋子
剣持 和子	上谷 直子	川井 弘子	田山 実紀
村上 裕子	志手 佳子	中山 智重子	
石原 裕子	三村 みどり	森 聡子	

倉敷音楽協会事務局

倉敷市老松町 4-8-1 太田洋行倉敷店内
☎ (0864) 22-7331